



NO.916
2014/4/20
発行所
日本共産党
網走市委員会
網走市北八西三
四三二一四四五八
F四三二一四四五七

あわや孤立死！ 生健会 独居老人を救出！ 日本共産党へ相談

北見生活と健康を守る会網走班から相談がありました。
「北見生活と健康を守る会網走班が独居老人宅の訪問活動をしていたところ、市営住宅に住む男性が居間で倒れているのを発見し、直ちに救急車を呼び病院に搬送され救出されました。」

この方は、以前に訪問したときも食事の用意もままならない様子で、日常生活が困難な状況でした。また、認知症の症状と思われる様子もあるため、介護認定を受けるよう勧めましたが、自分のことは自分でやれる。まだ大丈夫だと介護認定を受けることを拒否してしまいました。搬送された状況は、たいへん危険だったとのことですが、治療の結果、元気にになりました。
ソーシャルワーカーのお話ではこの方は、自分の病室に帰ることも困難な状態で、認知症の症状があるので介護認定の手続きをする必要があるといっておりました。こんな孤立死を招くような状況を改善する道はないのでしょうか」と



況を把握している町内会や民生委員などとの連携を求めてきました。
いま、単身の高齢者世帯が年々増えていますが、このような高齢者世帯に対して、さらに、きめ細かな対応がなければ、この問題の解決は難しいと考えます。
これからの議会活動に活かして生きたいと思っておりますので、市民のみなさんのお知恵も是非お寄せください。

年金者組合が年金切り下げ 消費税引き上げ反対署名を呼びかける

15日、春のような日差しの中で、組合員が署名を呼びかけ、次々と署名をしていました。
かつてなく多くの方が、怒りの言葉を語りながら署名をしていました。



年金者組合の署名の呼び掛けに次々と応じるベシックのお客さん

いっせいで東奔西走？ 敏勝

4月1日からの3%の消費税増税はあらゆる面で影響を及ぼしています。ある年金生活者は、「電気・ガス・水道・バス・電話・郵便・タクシーなど生活する手段に必要なものは値上げされた。年金は上がらず、家計支出が変わらなければ、今回の増税で圧迫された家計は嗜好品、食料品などを抑えざるを得ない。介護保険料は年金から天引きが始まり、追い打ちをかけるような年金の削減は許せない」と怒り心頭の様子でした。

知り合いのサラリーマン氏、仕事柄、毎日着替える白ワイシャツはクリーニング仕様で「塵も積もれば」と出費増で、これから自宅の洗濯機の出番が多くなりそうとのこと。
車のガソリンは軽四といえども月に600円〜750円の増加。今年は車検があるので頭が痛いといえます。好きな晩酌も「おかずを含めての縮小を考えねば」とため息交じりに言っていました。

これらの小さな例でも、庶民いじめの税であることは間違いないことが明らかです。
更なる増税は許さないためにも反対の声をもっと大きくしていきたいと思います。

松浦有哉メモ きとせ

先週の土曜日に、NPO法人北海道地域・自治体問題研究会が主催する市町村議会議員研修会があり、参加してきました。

全体会議では、憲法・地方自治をめぐる昨今の動向と地方議会・議員の役割と題して、河合博司略農学園大学名誉教授から講演がありました。

憲法の問題では、新しいことを学びました。これまで改憲論者などは、「アメリカ占領軍から押し付けられた憲法だ」と、よく言いますが、1928年に不戦条約（国家の政策遂行の手段としての戦争放棄、そして、国家の行動を制約する主体としての人民）を提案している人たちがいたのだそうです。

大正時代に自由民権運動が広がる中で、自由や平和を求める日本人がいて、その考え方が引き継がれて昭和になり第2次世界大戦で大きな犠牲を出しました。その反省と引き継がれてきた自由と平和を求める思想など、あらゆる英知が平和憲法につながっていることがよく分かりました。

流水

最近、複数の友人から句会に誘われ行ってみようかどうしようかと迷いながら、俳句とはどんなものか少し調べてみました▼古い歴史を持つ俳界はかつて花鳥風月を詠むものが主流でした1940年代に社会の矛盾に目を向け、生活に根ざした俳句を作ろうとする人たちが活動を始め広範な年代やいろんな階層の中に広がっていききました▼当時日本中に吹き荒れていた治安維持法による弾圧は俳界にも手が伸び幹部は投獄され社会性俳句の芽は摘まれてしまいます。戦後社会性俳句の水脈は甦り、誰もが自由な形で俳句を作るようになったが3年前の3.11をきっかけに「その時俳句はどのようなことができるか」と問いかけられ被災の現状を言葉で、文字で伝えよう、励まそうと気持ちをひとつにしたといわれます▼十七文字の文学、美しい自然を愛でながら一方で壊れていく地球を憂い、暮らしのこと、家族のこと、夢などなど自由に詠めばいいのだからが俳句に必要な豊かな感性も観察力もない私には無理なこと。そう思いながらも今生きていること周囲の様子政治への不満など「叫びたい」「表現したい」「伝えたい」と胸がうずきます。
重税にいつまで耐える散るさくら (U)